

会議名	令和4年度 愛荘町健康づくり協議会 会議録
開催日時	令和4年10月21日(金) 13時15分から14時37分まで
開催場所	愛知川庁舎3階 第2委員会室
出席者	<p>【委員】10人</p> <p>矢部隆宏 西村ふき子 曾我幸史 宇野久七郎 上野彩 川上寿一 堤伸二 東大裕 角彩可 三浦寛二</p>
欠席者	<p>【委員】</p> <p>小財敬子 中村恭子</p>
事務局	町長・森政策監(福祉)・木村課長・堀参事・鈴木課長補佐 北村係長・畑
傍聴者の数	0人
議題	「健康あいしょう21(第4期)」計画の進捗
審議内容	<p>○「健康あいしょう21(第4期)」計画の中間評価について</p> <p>○各機関の取り組み状況について</p> <p>○来年度の健康づくり運動(重点・方向性)について</p> <p>○高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業について情報提供</p>
問い合わせ先	健康推進課 担当 畑 あやの 連絡先 0749-42-4887

# 令和4年度 愛荘町健康づくり協議会議事録

開催日時:令和4年10月21日(金)13時15分～14時37分

開催場所:愛知川庁舎3階 第2委員会室

出席委員:10人 事務局:7人 欠席:2人

## 1. あいさつ

町長

## 2. 委嘱状の交付

(課長:机上に交付、併せて資料について確認)

## 3. 委員紹介

(各委員、事務局、名簿順に自己紹介)

## 4. 愛荘町健康づくり協議会要綱について

(課長:協議会設置の目的等読み上げ)

## 5. 愛荘町健康づくり協議会会長、副会長の選出について

会長:矢部 隆宏

副会長:西村 ふき子

## 6. あいさつ

矢部会長

近年はコロナの流行により、いかに感染しないかに傾注することで心身ともに消極的になられた風潮がある。コロナも落ち着いてきた中でどのように健康づくりを盛り立てていくか忌憚なご意見をいただきたい。

## 7. 協議事項

会長

それでは、次第に従って進行していきたいと思います。  
次第5「健康あいしょう21(第4期)」について、「健康あいしょう21(第4期)」計画の中間評価について、各機関の取り組み状況について、来年度の健康づくり運動(重点・方向性)について」を議題といたします。  
ではまず、1番の健康あいしょう21(第4期)」について、健康あいしょう21(第4期)計画の中間評価について事務局の方から報告をお願いします。

事務局

①健康あいしょう21(第4期)について  
「健康あいしょう21(第4期)」計画の中間評価について  
資料2に基づき、担当より説明

会長

事務局からの報告で何か質疑等ないでしょうか。  
委員より質問なし

会長

それでは、次第の協議事項の2の各機関の取り組み状況についてにうつります。  
健康あいしょう21(第4期)計画に地域の健康づくりに関する団体、医療機関、行政等の支援者が連携し、住民が健康づくりに継続的に楽しく取り組み、健康づくりを通じて人と人がつながり合い、支えあうことで、みんなが輝くまちを目指すとされていますが、健康づくりに関しまして各機関、団体で取り組みをされていること等のご報告をお願いいたします。

名簿順に報告をお願いしたいと思います。  
まず、愛荘町健康推進員協議会の西村ふき子さんをお願いします。

- 西村委員 新型コロナウイルス感染症の流行でここ2年ほど何も活動が出来ていなかったが、令和3年度から活動をさせていただいている。始めは心の健康と題してお話を聞きました。10月平和堂愛知川店で3日間ベジチェックを実施させていただいた。今年もこの10月の3連休に実施させていただき、550名ほどの方が来て受けてくださった。8月には彦根保健所の方に来ていただきゲートキーパーと題して研修を受けました。ゲートキーパーという言葉も知らない、どういう意味なのか分からない推進員もたくさんいた。私もこういう研修は初めて受けた。愛荘町内に住んでいながら自死をされた方がいることを知らなかった。こういう研修は1回だけでなく続けて受けて勉強して知識を深める必要があると思った。新しい試みとして、日本電産において、手作りのバランスガイドを食堂に設置させていただき、職員さんにバランスガイドを配り、それぞれ自身の食生活を振り返っていただくきっかけづくりをする機会とした。若者世代、働きざかり、高齢者にそれぞれに分けて提案している中で、今まで高齢者に向けてしていたが、今年初めて若者にといいことで、愛知高校にお願いして、来年1月に1年生130名ほどを対象に、塩分、朝食、野菜、外食、コンビニ食から切り込み、将来に向けて自分の健康について考えてもらう話をしに行くことを考えている。健康推進員32名が協力しあって、愛荘町の皆さんに健康について考えてもらったり、そんな活動をしていきたいと考えている。
- 会長 ただ今のことについてご質問等はないでしょうか。  
主に食生活についての推進ということでしょうか。
- 西村委員 運動についてもびんてまり体操をしていたが、字でもしていたがコロナの関係で出来ていない。
- 会長 今後、運動とか推進されていくのでしょうか。
- 西村委員 元気もりもり健康教室で、今までは3パートの一部分をしていたが、今年からは最初にかならずしていただいている。
- 会長 それはある程度年配者向けということですか。  
食生活に関しては若い方も含めてしているということですね。  
運動に関しては、年配の方を中心ということですね。
- 西村委員 今のところは。これから取り組みます。
- 会長 愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会の宇野さんをお願いします。
- 宇野委員 愛荘町の国民健康保険の基本的な部分を検討している。毎年町長より諮問を受けて、保険料率を検討し答申している。特に保健事業に関して、特定健診、人間ドックであったり、自分の健康を意識していただくために、人間ドックの助成やいろんな健診の費用の補助の検討をしている。助成したからといって受診率が上がるわけではないので難しい。歯の方をしていくのはどうかという意見が委員から出ている。特に小学生のフッ素塗布、徐々にむし歯予防につながってきているというのも出てきている。今後推進していきたいと思っている。
- 会長 ご質問ないでしょうか。人間ドッグの利用される方はどの程度でしょうか。
- 宇野委員 年間200名程度
- 会長 それは年齢が決まっているのか。
- 宇野委員 いろんなことを検討している。金額を増やすとか、数多くの人が受けられるようにしようとかしているが、受ける人が多くない。

会長	脳ドックに行ってきましたと、補助をもらってということだが、どの程度の補助なのか。
宇野委員	全額補助ではないので。経済的なことばかりではない。それは今提案して課題にしている。
会長	他にご質問とかないでしょうか。 小中学校養護教諭代表で愛知中学校の上野先生よろしくお願ひします。
上野委員	自尊感情のアンケートを令和1年からされているが、愛知中学校で。「自分には良いところがあると思いますか」という中学生が、令和1年で53%だったのが、令和4年で74.5%という結果で段々とあがってきている。学校としての取り組みで、自尊感情についてだが、各学期に1回ずつは教育相談期間を1週間ほど設け、子どもたちにアンケートをとり、一人ずつ担任と生徒とで面談する場を設けている。担任以外にも部活動や保健室で生徒の話聞くようにしている。朝から放課後までいろんな生徒の話聞いて終わる日が増えてきていて、悩みを聞いてほしい生徒がここ数年増えてきたなど実感している。いろんな先生が関わりつつ一人一人の話聞くことを中心に取り組んでいる。
会長	聞き逃してしまったが、53%から74.5%になるというのはどういう話でしたか。
上野委員	自分には良いところがあると思うという生徒の割合です。他にも項目があり、先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか。令和1年76%だったのが令和4年前期で91%となっている。教師の負担も増えているが、スクールカウンセラーが週1回の午後だけなので、もう少しサポートがあればと思っている。
会長	今の中学3年生は、ずっとマスクして、学校も休みになったりとか部活もあまりできなかったのもその辺も影響しているのか。
上野委員	学校行事なども今まで通り過ごせてない。発散する場がない。
会長	一番デリケートな年代だと思う。不登校が増えているとかはないか。
上野委員	不登校も増えてきている。
会長	自分には良いところがあるかどうかは増えていますよね。 学校の方も、対面授業とか含めてだが、元の状態には近づいているのか。
上野委員	徐々に緩和されてきている。調理実習はしていないが、対面的なこと、グループでの意見交換などはしている。
会長	調理実習はマスクをしていれば、食べる時だけの感染だけで、できないことはないのではないかと。
上野委員	食べる時に話をしてしまうので、なかなか指導が難しい。
会長	そろそろ打破していく必要がある。何か質問はないでしょうか。
曾我委員	54%から74.5%になっているのはかなり良くなっている。先生方が生徒さんを良い風に捉えているということでしょうし、担任の先生と上野先生とそれ以外の先生も全校あげてということですか。なかなか難しいお年頃なのに、頑張っておられると思います。
会長	先生方のストレスも相当高いのではないかと。
上野委員	コロナ対応もあって大変。職員健診と一緒にストレスチェックをしている。

会長	ただでさえ自分自身にストレスがある中、生徒から訴えがあると辛いですね。学校の先生は、時間外が長い話を聞くが実際はどうか。
上野委員	問題が起こると 22 時 23 時で、なくても 19 時 20 時くらい。
会長	土日とかも出勤されることはあるのか。
上野委員	部活動はもちろん、部活なくても仕事をしに子どもたちがいないので授業の準備を。各教科性で空き時間はあるが、生徒と話す時間になっているので、土日や家での仕事がある。全員ではないが。
会長	職業柄、子どものためとかそういうところがあるので、手を抜くのは大変だと思います。それに頼り過ぎているところがある。社会そのものを変えた方がよい。 他にご意見はなかったでしょうか。 次に東びわこ農業協同組合の堤さんよろしくお願いします。
堤委員	愛荘町管内に 6 つの事業所あり、570 名中の 70 名が愛荘町で勤務している。職員向け、地域組合員向けに活動している。健康あいしょう 21 の基本目標の項目に沿ってお話します。生活習慣病の発症予防等は、組合員向けに健診活動をしている。JA ドックの健診活動として、愛知川支店の横で 6 月 20 日 21 日の 2 日間実施し、町内の方で 61 名が特定健診とともに受診された。事後指導で、骨粗しょう症健診も実施した。生活習慣の改善ということで、組合員向けには、てくてくウォークという形でウォーキング活動をしている。今年度については、地元散策で豊満神社やゆめまちテラス、彦根城等 120 名の参加があり、その内愛荘町民は 60 名が参加された。職員向けには健康保険のアプリを使ったウォーキング推進などを実施。禁煙の関係は、敷地内全面禁煙となった。禁煙プログラムの受講者に対して補助をしていたが、少なくなってきたため、今年からはその補助は終了した。社会生活に必要な機能の維持向上、心の健康ということだが、職員向けにはメンタルヘルスチェック、ストレスチェックを年 1 回実施し、問題ある場合は産業医との面接を実施。全職員の労働時間管理、一定数を超えた場合は産業医面接を実施。次世代の健康ということで、食の教育としてイベント、添加物の勉強など年間を通じて実施。愛知川支店のあいしょう館前で近くの幼稚園、保育園を招いて食の勉強会をしている。子ども食堂を島川で実施されているということで支援活動もしている。高齢者の健康については、介護予防教室を実施している。
会長	何かご質問はありますか。
課長	敷地内禁煙にすることで、禁煙できたということでしょうか。
堤委員	どうしても喫煙者の居場所がなくなるので。  喫煙所がなくなると自然とやめていかれ、補助しなくても禁煙する人が増えたということですか。
堤委員	遠くへ吸いに行くことになるので、同じ職員の目が厳しい。長時間出ることになるので。
会長	広範囲に活動されているが、組合員は人数はいるのか。
堤委員	職員は 500 名。愛荘管内 70 名、組合員は 2 万人強です。
会長	町内はどのくらいの割合でおられるのか。
堤委員	愛荘町の割合は、今はちょっと分かりかねる。
会長	ほとんどが農業をされているのか。

堤委員	元農業者もおられ、組合員としていので、今現在農家ではない方もいる。
会長	そういう方が生活習慣に対しては何かあるのか。
堤委員	全員に健診活動の案内がありますし、案内を見てこられる。各町の特定健診を受けられるので、全体では多く受けていただいている。現在 234 名がうちの管内では受けていて、愛荘町民は 61 名、6 月末までのデータです。
会長	他にご質問はないでしょうか。 愛荘町商工会青年部の東さんよろしくお願ひします。
東委員	健康づくりに関して一切活動はしていない。おかげさま市であったり、ゴルフだったり、スポーツはボウリングぐらいしか活動していないので、健康に関して何かイベントをしようとかはない。
会長	青年部の年齢は何歳ですか。
東委員	45 歳まで。
会長	45 歳は、そろそろ健康について考える年齢ですね。 他にご意見はないでしょうか。次は、湖東健康福祉事務所の角さんよろしくお願ひします。
角委員	がん対策の取り組みとして、資料を作成し、商工会や事業所、医師会に配布し、今まで紙だったのをコロナの関係もあってデータに変更があった。健康づくりでは、事業所へ元気元気レター、健康衛生情報誌で情報を提供している。内容については、運動や喫煙、食事など年に 6 回程発行している。メタボの話では、糖尿病重症化予防対策として、医療機関や市町が連携しやすい体制づくりを進めていきたいと考えている。
会長	湖東健康福祉事務所の管轄はどの辺になるのか。
角委員	湖東圏域になるので、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の 1 市 4 町になる。
会長	湖東、愛東とかは別になるのか。
川上委員	東近江になる。
会長	何かご質問はないでしょうか。愛荘町図書館の三浦さんお願ひします。
三浦委員	秦荘図書館と愛知川図書館で、以前から健康に関するものを専門的に収集、看護師向けの資料とかも充実させている。健康推進課と協働でさまざまな事業を推進している。毎月、健康推進課より健康に関するテーマをいただき、関係する図書をコーナーへ展示、紹介している。明日、健康推進課とのコラボ事業として「親子で体操！いつもの姿勢、それで大丈夫？」をしますのもしよければご参加を。図書館は、休日はお年寄りから子どもまで 1000 人以上来館者がいますので、健康を PR してより健康になってもらう一つの場として提供している。
会長	何かご質問はないでしょうか。1 日 1200 人超えている、すごいですね。コロナ以前と変わらないくらいでしょうか。
三浦委員	ほぼほぼ変わらない。
会長	何かご質問はないでしょうか。 湖東健康福祉事務所の川上所長さんよろしくお願ひします。
川上委員	3 年間、今まで地域ごとに取り組んでいた直接みんなが集まって何かする取

り組みが、健康推進員さんの事業の中でも、保健所の事業もだが、健康づくりだけでなく一般の生活活動が制限された中で、大変ご苦労があったと思う。その中で、健康の指標が出始めているが、体力が落ちている、がんの健診の受診控えが増えてしまった、本来定期的に受診していた方が、症状が出るまで行かないという話が出ている。滋賀県内でももう少し早く見つかったという方もいたという声もあがっていた。健康あいしょう 21 に照らし合わせると、がん検診の精密検診受診率になっていて、検診を受けた方のうちさらに詳しい検査が必要と言われた方がどれだけ受けているか。令和2年度の数値が特に胃がん・大腸がんが落ちている。病院に行くのが心配と思われる方が多かったのが実際だったのだろう。最初のところで引っかけり、精密検査を受けていないのはもったいない行動になってしまうが、そういうことが起きてしまっていたということになる。段々取り戻していくところが必要になってきた。今保健所で考えているのは、第8波の対策を講じつつ、かつ活動を再開していくか、どうやってあわせて進めていくか、感染に気を付けつつ、活動するのは今までにあまりないことで、これまでの経験を活かしてとは違う。届け出の方法も変わってきていてそれに応じた行動をしていくことが必要になってくる。健康に必要ないろいろな取り組みをされていて、食事をしっかりする、体を動かす、この辺りは変わっていないこと、人との交流の機会があることが大事というのも変わっていない。交流が直接近い距離で、出会ってするのはコロナにより制限されたので、難しい時の交流とか出会いとかリモートは広がったが、リモートが使えない状況もあるという中で、どういうことがこれから先必要なかが大事になってくる。保健所の動きとして、保健所の仕事がなかなかとまってしまっている。ゲートキーパーの研修会は、しばらく出来ていなかったのも、流行の谷間で企画出来ていたものができた。できるだけやれることはやっていきたい。

会長

何かご質問とかないでしょうか。コロナが出た時は、武漢ウイルスは、死ぬのではないかという恐怖心が強かったのではないか。そうなると、がんは心配だが、病院には来ない。今は、病院に対する抵抗も減っていて、病院での検査控えを感じていたところ。今のオミクロンに関しては発熱外来をしても怖い印象はなくなっている、熱は出るが肺炎にならず、後遺症の話もあるが後遺症が残っている人は減っていると思う。海外では、さほどコロナを気にしない風潮も見られる。ワクチンをしていてもかかる人はかかる。4回していても、うつって来られている。最初のワクチンが効いているのか、オミクロン自体が弱毒化している印象がある。空気感染も怖かったが、飛沫感染だけの印象がある。流行している時はマスク必要だが、徐々に外にいて人と1m以上近寄ることはないのも、そろそろマスクを外していく。誰かがファーストペンギンになって、マスクを外している人が増えてくると自分も外そうかなとならないかなと思っている。曾我先生どうぞ。

曾我委員

町の歯科保健の協力をしている。フッ化物洗口事業5年目になり、良い兆しが見えてきているかなともうひと頑張りしたい。今年度、町の方が妊婦の歯科健診を開始しまして、健診をしている。今のところ受診率が低いと歯科保健の会議で話があり、ハガキを出して受診勧奨をするという話が出ていた。コロナ前には、町民に直接歯科の相談、健診をする場として66かまど祭りに参加して実施していたが、コロナ禍で2年中止している。今年はかなり近い形ですか、東さん。66かまど祭りに近い感じですか。案内ももらったが、コロナが怖い、来場者にマスク着用を促していて、マスクを外す一角が存在するのはどう思われるのかというのもあり控えさせていただいた。来年以降は違った形の内容にして参加を検討してもいいかなと考えている。

会長

全体を通して、ご質問、ご意見はないでしょうか。あるいは、言い残したことはなかったでしょうか。次第5の3にうつります。来年度の健康づくり運動（重点・方向性）について事務局からご報告をお願いします。

事務局

③来年度の健康づくり運動（重点・方向性）について  
資料に基づき説明

会長	<p>ご質問やご意見はありますでしょうか。      それでは、本日の協議事項はこれで全て終了しましたので、ご協力ありがとうございました。事務局にお返しします。</p>
課長	<p>各団体の方からいろいろご意見をいただき、ありがとうございました。      青年部からの報告で何もしていないとの報告がありましたが、所長さんが言われたように交流という意味では良いことをしていただいていると思いな      がら聞かせていただきました。      健康について、生活の質をあげる、QOLをあげるために健康というのが後      からついてくると思っていますが、健康ということを切り口に、いろいろな      団体の方が今日まで、これからも進めていただけていくということをごこ      で確信させていただき、私どもも力強く頑張れます。引き続きよろしく願      いいたします。      愛荘町の健康づくり運動の基本となるのが、噛む COME+10 というこ      とで、どの世代にも 1 ロプラス 10 回噛むということで、自然と健康になっ      てしまう愛荘町を目指して進めておりますので、ぜひそれぞれの団体の方      々も PR していただけるとありがたいと思っておりますし、また実践もして      いき、メタボや認知症の方、むし歯のない町をつくっていききたいと思っ      ていますので、ご協力の方よろしく願います。</p>
課長	<p>6. その他      ①高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業について      この場をお借りしまして、最後に一体化事業について担当より説明させて      いただきます。</p>
事務局	<p>資料 3 に基づき担当より説明</p>
課長	<p>本件についてご質問等がありますでしょうか。      難しい話にはなりますが、こうした一体化事業を愛荘町も始めたというご      報告と健康推進課で大きな協議会というのが健康づくり協議会でごしま      すので、結果についてもご報告等もさせていただきたいと思っております      のでよろしく願います。      全体を通して、何かご意見、ご質問、要望等ございましたらお聞かせいた      だきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。        長時間にわたり、ご審議いただきましてありがとうございました。      コロナ禍で制限のある生活から経済を回していく活動的な生活にかわりつ      つあると思います。消極的な健康づくりから積極的な健康づくりにかわる時      点にきていると思いますので、今後も引き続き健康づくり運動を進めてい      きたいと思っておりますので、よろしく願います。      本日は、ありがとうございました。</p>